

議題（4）

新型コロナウイルス感染症影響下における
通いの場等の取組に関する調査結果（一部抜粋・概要）

1 調査概要

(1) 調査名

新型コロナウイルス感染症影響下における通いの場をはじめとする介護予防の取組に関する調査研究事業「新型コロナウイルス感染症影響下における通いの場等への影響に係る実態調査」

(2) 調査対象

市町村（全市町村から回答済）

(3) 調査主体

厚生労働省（受託事業者）

(4) 調査実施日（回答期限）

令和3年10月22日

(5) 回答結果の活用

受託事業者による回答の一部について、県で抜粋し、結果を集計

2 調査内容及び結果（一部抜粋・概要）

【調査内容】

新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた通いの場の活動の変化について
令和3年8月時点での管内の通いの場の活動に関する、全体的な変化の傾向について

(1) 令和3年度の通いの場の活動について、以下の傾向が見られたかどうか

- ①活動内容や方法、条件等の変更
- ②参加者の減少
- ③参加者の活動意欲の低下

(2) 「変化の状況で傾向あり」と回答した場合の具体的な内容や理由について
自由記載

【調査結果】

令和3年度の通いの場の活動について、以下の傾向が見られたかどうか

①活動内容や方法、条件等を変更した（23市町村）

- 内容
- ・開催時間を短くした
 - ・コーラスやカラオケ、体の接触があるプログラムを避けた
 - ・会食や茶話会を中止した
 - ・屋外での活動を増やした
 - ・参加者を半分に分け、予約制にした
 - ・参加者の体力が低下したため、運動強度を下げた

②参加者が減少した（24市町村）

- 理由
- ・中止期間が長くなり、再開しても高齢者の生活リズムに組み込めなかったため
 - ・活動自粛の長期化により、参加者の心身機能が低下したため

- ・人と会うことや集まりに参加することに、参加者が不安や抵抗感を抱いたため
- ・活動自粛や活動回数が減少したため
- ・参加回数や定員を制限したため
- ・本人に意欲があっても、家族が参加に反対したため
- ・自粛期間中に、足腰が弱ったり、転倒したり、体調を崩したりしたため

③参加者の活動意欲が低下した（10市町村）

- 内容
- ・活動休止期間中に意欲が低下した
 - ・再開、中断の繰り返しにより参加意欲が低下した
 - ・緊急事態宣言により外出が億劫になった
 - ・感染の不安によりモチベーションが低下した
 - ・身体機能が低下し、気力も低下した

3 特にご意見を頂きたい内容

活動自粛の長期化等による「通いの場」の活動の変化として、参加者の減少や活動意欲の低下の傾向がみられています。

市町村においては、自粛期間中も介護予防に関するチラシ・動画等の媒体の作成や、電話・訪問等による健康維持の支援を継続し、通いの場の再開支援を行っています。

●人との接触が減ることによる影響について

- ・高齢者の心理的影響や必要な対応についてご意見ください。
- ・新型コロナの影響が更に長期化した際に備えて、取り組みや普及啓発が必要なこと等についてご教示ください。

●コロナ禍による認知機能低下について

- ・コロナ禍における、認知機能低下や精神疾患の実際についてご教示ください。
- ・高齢者の認知機能低下を防ぐために必要な支援や関わりについてご意見ください。